

タイトル・ヨミについて

(※情報は全て架空のものであり、一部省略している項目もあります。)



TRC MARC は、正確で整合性のとれたデータになるよう、日本目録規則 (NCR) に則り項目ごとに作成ルールを細かく設けているよ。タイトルに関する部分は特に大切。さまざまなパターンが出現する図書の表記に対応できるよう、なぜそのようなルールにしているのかも併せて解説します！

◆タイトルの採用方法◆

図書本体の表紙をめくったところにある「**標題紙**」、本体の最後にある (ことが多い) 「**奥付**」、図書館で書架から探す際ポイントとなる「**背**」、そして「**表紙**」。この4カ所をあわせて4情報源と呼びます。タイトルをはじめ、目録に必要な情報はここから優先順位に従って採用します。



4情報源の優先順位

4情報源の中では「**標題紙**」を第1の情報源としています。2番手には図書本体の「**奥付**」が続き、狭い範囲に重要な情報を詰めた「**背**」が3番手、目に留まりやすくデザイン性が高くなりがちな「**表紙**」は4番手です。近年ではカバーごとブックカバーをかけて納品することが多いため、TRCではカバーも情報源にしています。

もし情報源によってタイトルの表記が違った場合はどうするのですか？



«**標題紙・表紙「TRC MARCのひみつ」** VS. **奥付・背「TRC MARCの秘密」**»

もしこのように2対2などの同数で表記が割れている場合は、最も優先順位の高い標題紙を含む方の表記を採用します。標題紙 VS. 奥付・背・表紙の場合は、残念ながら標題紙は不採用。数が同じなら優先度順、違うのであれば多数決で決まります。

なるほど！でも「TRC MARCの秘密」では検索できないのですね…。



本タイトルに採用しなかった方のタイトルは、**注記**に入力しています。MARC上にどちらの情報も持たせ、注記にもヨミを付与することで、どちらのタイトルでも検索できるようにしています。タイトル中にアルファベットや数字を含む場合は、そちらでも単語検索に対応できるようにヨミを記録しています。

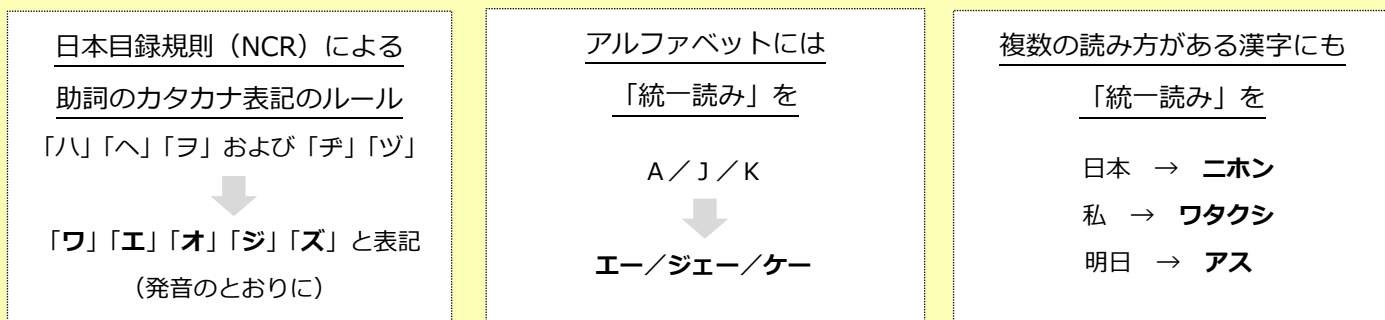
「ひみつ」「秘密」どちらで検索してもヒット！

「/」分かち書き=カナヨミには単語ごとに区切りを入れています。

本タイトル	251A01	TRC MARCのひみつ
	341A01	奥付・背のタイトル：TRC MARCの秘密
タイトル注記	541A01	ティーアールシー/マーク/ノ/ヒミツ
	541F01	TRC/MARC/ノ/ヒミツ

◆カナヨミのルール◆

タイトルにはカタカナでヨミを付与します。「暮らし」「暮し」「くらし」のように、図書によって表記が違う言葉をまとめて探したい場合や、「大人の週末」？それとも「おとなの週末」？と漢字の表記がわからない場合は、カナヨミで検索すると便利です。また誰がデータ作成に携わっても整合性のとれたデータとなるように、下記のように「統一」のルールを定めています。



統一読みと異なるルビが図書にある場合は、図書にある通りの読みと統一読みを両方入れます。タイトルに漢字本来の読み方ではない特殊なルビが振られている場合は、その漢字の直後に () に入れてルビを記録します (※)。カナ読みには、ルビの通りの読み方と、漢字の自然な読み方を両方入れます。



本タイトル	251A01	豚 (ぶーすけ) は私のともだち
	551A01	ブースケ/ワ/ワタクシ/ノ/トモダチ
	551G01	ブタ/ワ/ワタクシ/ノ/トモダチ
	551B01	豚は私のともだち

検索のために、「豚は私のともだち」= () を抜いた形のタイトルも入力しています。

※2021年12月までの適用ルールです。

日本目録規則 2018年版での変更点をふまえ、TRC MARCも2022年よりルールを改定予定です。今後 TRC MARCpedia にて詳細を解説していきますので、そちらもぜひご確認ください。



◆全集？シリーズ？TRCでの考え方◆

出版物のなかには、共通したタイトルを付けて複数冊刊行されるものがあります。同じようなつくりでも、「**全集**」とするか「**シリーズ**」とするかで MARC の中身も大きく異なります。図書のつくり (4情報源での表示のされ方) を見て、また図書館での利用のされ方も考慮して、総合的に判断しています。

«全集»

個人の著作集、続きものの物語、一つのテーマについて体系的に編纂されているものなど、各巻ごとの分類であちこちの書架に散らばるより、まとめて一箇所に配架される方が利用しやすいと考えられるものは全集として扱います。

*巻次や巻タイトルについては Vol.03 をご参照ください。



«シリーズ»

ひとくくりの共通する名前が付いていても、1冊で独立していると考えられるものは、全集ならば巻ごとの固有タイトル (=巻タイトル) となるものを「本タイトル」とし、共通する名前を「シリーズ名」としています。

*例「ちくま文庫」「岩波ジュニア新書」など



「続〇〇」という図書は、「続」も含めてタイトルにしないのですか？



単行本の続編が刊行された場合、「続〇〇」とタイトルがつながって表示されていても、MARCでは「続」を切り離して巻次として記録。1巻、2巻…と続く全集と同じように、続=2として扱います。また TRC MARCpedia Vol.03 で解説したように、「続」が刊行されたものは1巻目となる図書に「〔正〕」 (=1) の補記メンテナンスを施します。

1巻目の単行本

本タイトル	251A01	目録を学ぼう！
巻次	251D01	〔正〕
巻冊記号	690D01	1

続巻

本タイトル	251A01	目録を学ぼう！
巻次	251D01	続
巻冊記号	690D01	2